



学びのアップデート
Learning Updates

■ 「今だからこそ、デジタルで備える」

- ・ 急な停電が発生 前年度に授業を配信した経験が起きた（都立 X 高等学校）
- ・ 市内全校がオンライン授業のシミュレーションを行う日を設定して実施（西東京市教育委員会）

■ 研究校・推進校の取組の紹介（大田区立梅田小学校の事例から）

■ 著作権に関する教員向け研修動画を公開

■ 心のつながりを感じさせるオンライン学習の取組の紹介（心のつながりプロジェクトオンラインから）

■ デジタルを活用して学びを継続する

新型コロナウイルスに限らず、インフルエンザ等の感染症やその他災害などの**非常事態に備え、**
オンライン学習で子供の学びを継続する準備はできていますか？

新型コロナウイルス

台風

地震

感染症



オンライン学習をどのような場面で実施するか、事前に考え、準備しておくことが大切です。

災害

学校・学級閉鎖

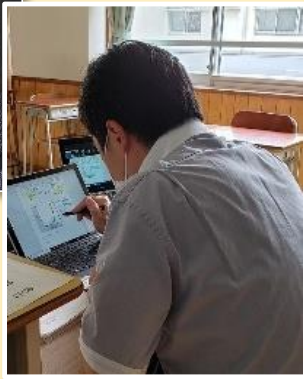
■ 「急な停電が発生。前年度に授業を配信した経験が生きた。」（都立X高等学校）

令和4年6月4日（土）午後5時過ぎ、都立X高校では学校の電気が急に消え、トイレも使えなくなりました。調査したところ、学校が使用する地中の電線に**何らかのトラブルが発生して停電**。復旧まで1週間かかることが分かりました。

そこで学校は、**生徒を登校させず、オンライン学習に切り替え**ました。



写真
都立X高等学校



教員の声

- 急な対応を迫られたが、前年度にオンライン学習の経験があったことが大きい。
- Teamsの活用により、個別に質問を受けられるようになった。対面と変わらず丁寧に指導ができた。
- オンライン学習を複数回経験してきたので、今回も戸惑うことなく実施できた。経験は生かされている。

生徒の声

- これまでの経験で慣れている部分もあり、大きな混乱はなく対応できた。
- 一方的に話を聞くだけでなく、絵文字やgoodボタンで反応を返した。
- Formsでの振り返りや課題提出が増えたが、通常の授業を受けているのと変わらないと思った。

■ 市内全校が「オンライン・ドリルの日（オンライン授業のシミュレーションを行う日）」を実施 （西東京市教育委員会）

令和4年6月8日、西東京市立田無第一中学校では、給食終了後に生徒が下校し、6時間目にオンライン授業を行いました。

西東京市では、今後も想定される感染症拡大によるオンライン授業の実施に備え、今年度より「オンライン・ドリルの日」を市内全小・中学校で設定し、オンライン授業のシミュレーションを行っています。

この「オンライン・ドリルの日」は、年間3回実施します。



写真 西東京市立田無第一中学校



■ 備える際のポイントは？ 「急な事態にも対応できること」

- 全ての教員が対応できること ⇒ 「一部の教員だけできる」では、子供たちの学びを保障できません。全員がスキルを身に付けましょう。
- 教員は、教科の特性や自分のスタイルに合った「オンライン学習」を決めておくこと ⇒ ライブ配信やオンデマンド配信などの配信スタイルやオンラインに適した授業の組み立てなどを準備しましょう。
- それぞれの教員が、児童・生徒からの質問を受けられること ⇒ 児童・生徒から教員に質問できるようツールを定め、用意しましょう。質問の事前練習も忘れずに。

広がるオンライン学習

学校で対面授業を行いながら、学校を休んでいる児童・生徒のために、授業内容を配信するスキルを身に付け、取り組んでいきましょう。インフルエンザなどの感染症による学級閉鎖・出席停止や、生理痛などで学校を休んでいても、学びを継続できます。



■ 学習場面に名前を付け、校内で共有する

大田区立梅田小学校（令和3・4年度情報教育研究校）では、プログラミングや調べ学習などにおいて、児童が学習のねらいを確実に達成できるように、**学習場面に名前（「やってみタイム」等）を付けて指導**しています。

この名前を校内で共有し、**学年が上がっても引き継ぐ**ことで、学習の流れの定着を図っています。

やってみタイム



発表を練習する。

見せ合いタイム



ペアなどで発表し合う。
アドバイスを伝える。

仕上げタイム



アドバイスを基に、発表の内容を見直す。

見せタイム



改善した内容を発表する。

〇〇先生「～タイム」は、**うちの学校独自の名称**だから、ぜひ使ってね。



教師同士の会話例

はい、そうします！
子供たちが見通しをもって活動できそうです。



「とうきょうの情報教育」では、この他にも多くの事例を掲載しています。アクセスしてみてください。

文化祭における著作権

令和4年6月に都立Y学校で実施した「著作権に関する教員向け研修」の動画を公開しました。

－動画の内容－

- 授業や学校行事等で著作物を利用する際のルールや注意点を解説
- 「こんな場合はどうしたらいいの？」迷った場合の参考資料や問合せ窓口を紹介

<研修動画はこちら>

<https://youtu.be/pPV0YJ-xFak>



テーマ「著作権」

<目標>

9月に文化祭を控えていることもあり、著作権についての知識を得るとともに注意すべき点等について理解を深める。



例外(著作物が自由に使える場合)

- ・複製権・公衆送信権等(ネット配信)
→私的使用のための複製、引用、…、**教育機関における複製等(第35条)**
- ・上演権・演奏権・上映権・口述権
→**営利を目的としない上演等(第38条)**

参考:文化庁「著作者の権利の内容について」

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/kenrinaiyo.html>

参考:文化庁「著作物が自由に使える場合」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

このようなスライドを用いて研修会を行いました。

授業や学校行事等に関する著作権の参考資料

- ・ CRIC (公益社団法人著作権情報センター)
「著作権Q&A」→「学校教育と著作権」
<https://www.cric.or.jp/qa/cs01/index.html>
- ・ SARTRAS (一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会)
「補償金制度利用に関するFAQ」
<https://sartras.or.jp/faqs/>

著作権に関する参考資料

- ・ 文化庁「著作者の権利の内容について」
<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/kenrinaiyo.html>
- ・ 文化庁「著作物が自由に使える場合」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/gaiyo/chosakubutsu_jiyu.html

■ オンラインでも「心のつながり」

東京都教育委員会のホームページで、**オンラインを活用して人と人とのつながり**を深め、心がかよう取組の事例を紹介しています。

オンラインで地域企業と交流しました



新宿区立新宿養護学校

中学部の総合的な学習の時間で、区内の企業のCSR活動と連携した活動を行いました。**当日はオンラインで8社の参加**があり、会社の仕事の紹介や商品・製品の画像を使った説明を聞くことができました。



小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のたくさんの事例を紹介しています。
アクセスしてみてください。

視覚障害特別支援学校などの友達とオンラインでつながろう



東京都立久我山青光学園

都内の視覚障害特別支援学校などの**4校がオンラインで集まり、交流会**を行いました。クイズコーナーでは、○×で答えられる問題を出し合い、拍手で回答しました。

学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信
第11号 令和4年7月8日発行 東京都教育庁総務部教育政策課